

令和5年(ネ)第292号 国家賠償請求控訴事件

控訴人大江千束 ほか

被控訴人 国

控訴証拠説明書5(甲A号証)

東京高等裁判所 第2民事部cd係 御中

2023(令和5)年3月10日

控訴人ら訴訟代理人 弁護士 寺原真希子

控訴人ら訴訟代理人 弁護士 上杉 崇子

ほか

号証 (甲A)	標目	原/ 写	作成年 月日	作成 者	立証趣旨
甲A 614	「岸田首相 夫婦別姓や 同性婚『改正で家族観 価値観 社会が変わって しまう』」記事	写	2023/ 2/1	NHK	(法律上の同性同士の婚姻を導入するよう求められた野党議員に対して)岸田首相は、同性婚を導入すると家族観や価値観、社会が変わってしまうと答弁したこと。
甲A 615	「荒井秘書官の差別発言に岸田首相「言語道断」…異例の更迭で政権に更なる打撃」と書かれた記事	写	2023/ 2/4	読売新聞	(2月1日に岸田首相が答弁した『社会が変わってしまう』という内容について、記者から問われ)荒井首相秘書官が、(同性婚カップルが)隣に住んでいたら嫌だ。見るのも嫌だ」と発言した。同性婚の法制化についても、「(首相)秘書官はみんな嫌だと言っている。認めたら、日本を捨てる人も出てくる」などと語ったこと。

甲 A 616	大阪地裁判決が言い渡されたあと、同判決について言及されたツイートを集めたもの	写	2022/ 6/20	不 特 定 多 数	(本書証は、大阪地方裁判所が本件諸規定について憲法に違反しない旨の判断をしたあと、同判決について論評、言及したツイートを集めたものである) ツイッターでは、「見えない所でひっそり暮らしておいてほしい」「ホモとかキモすぎ」「ゲテモノは海外に行け」などが投稿され、同性愛者等に対する偏見、差別意識は、国民のなかに、確実に、そして根強く潜んでいるといえること
甲 A 617	「杉田水脈政務官が辞表提出 『差別していないが、真意伝わりづらい』」との題名の報道記事	写し	2022/ 12/27	朝 日 新 聞	(杉田衆議院議員は、政務官を辞任したもの) その際に、同議員は取材において「(発言に対する信念を貫きたいと思う一方で、内閣の一員として迷惑をかけるわけにはいかない」と述べ、LGBTは生産性がない旨の発言に対する偏見を是正することはないことを自認していること。
甲 A 618	「愛知県議『同性結婚なんて気持ち悪い』と SNS に投稿…抗議され謝罪」との題名の報道記事	写	2022/ 10/5	読 売 新 聞	渡辺愛知県議は、同性結婚について「気持ち悪い」と SNS に書き込んでいたこと。
甲 A 619	「『同性婚気持ち悪い』再び投稿 愛知・渡辺昇県議」と書かれた報道記事	写	2023/ 1/26	産 経 新 聞	渡辺愛知県議(自民)は、再び「同性婚気持ち悪い」と SNS で投稿していたということ。

甲 A 620	「浜松市議 委員会での発言謝罪 “不適格な発言 反省している”」と書かれた報道記事	写	2023/ 2/8	NHK	浜松市議会では自民党浜松に所属する柳川樹一郎議員(72)は、2月2日の市議会の委員会でも市立中学校の男性教諭が男性の住むアパートに侵入して再逮捕された事件について説明された際、「この人はちょっと異常な性癖だ。普通の感覚だと女性のアパートに侵入する」などと発言したということ。 (もって、同性愛者に対して異常な性癖であるとの偏見を有していることを証明する)
甲 A 621	夫婦別姓同性婚パートナーシップLGBT—家族と社会に関わる諸問題—	写	不明	楊尚眞	(本冊子は、2022年6月13日に開催された神道政治連盟国会議員懇談会の会合で配布されたものである) ・同性愛は…後天的な精神の障害、または依存症です。(23頁下段)。 ・依存症は一度陥るとなかなかそこから抜け出すことができません。同性愛行為の快感レベルが高くてなかなか抜け出すことができないのは、ギャンブル依存症の人が沢山儲けたときの感覚が忘れられず、抜け出せないのと同じなのです(同上)。 ・彼ら〔控訴人代理人注：同性愛者等〕は自分たちの内面に様々な問題を抱えていることに起因するものなのです。同性愛者の中にはアルコール中毒者が多く、健康状態が影響して短命となる傾向がある(24頁)。 ・同性愛からの回復治療の効果が期待できる(23頁下段) 等と書かれていること。
甲 A 622	神道政治連盟のHP	写	不明	神道政治連盟	神道政治連盟は、日本の伝統や文化を後世に正しく伝えることを目的として設立された政治団体であること。 同連盟と「問題意識を共有する多くの国会議員」が、神道政治連盟国会議員懇談会を結成し、2022年(令和4年)7月末日時点で、257名の衆参国会議員が参加していること。

【有償配布 や Web(ホームページ, ブログ, facebook 等)へのアップロード・転載はお止めください】
 【リンクはご自由にお貼りください】
 「結婚の自由をすべての人に」東京第一次訴訟控訴審(東京高裁)第1回期日(20230623)提出の書面です。

甲 A 623	「神政連国会議員懇が 総会・・・」と書かれ た報道記事	写	2020/ 12/16	産 経 新 聞	故・安倍晋三元首相が会長を務めてきたこと
甲 A 624-1	弘前学院大学HP	写	2022/ 7/1	弘 前 学 院 大 学	上記講演記録の講演者筆者の所属大学である 弘前学院大学ですら、上記冊子(甲 A 6 2 1) について疑問を投げかけている声明を出して いること
甲 A 624-2	「弘前学院大学宗教主 任によるLGBT・・・」 と書かれた記事	写	2022/ 7/6	キ リ シ ン	
甲 A 625	「5万人超 性的少数者 に差別的な冊子」と書 かれた記事	写	2022/ 7/25	毎 日 新 聞	立法府の4分の1の1の議員が所属する団体の 会合で堂々と配布されたことに対しては当然 多くの国民が批判の声をあげ、「冊子の内 容を明確に否定してください」を求める5万 筆もの署名運動につながったこと。

甲 A 626	「同性愛は依存症主張 の冊子に見解・・・」 と書かれた報道記事	写	2022/ 7/5	女性 自身	議員懇談会等が上記冊子を回収したり、上記 冊子の内容が誤りであると釈明することはし ていないこと。
甲 A 627	第204回国会衆議院法務 委員会議録第4号(抄)	写し	2021/ 3/17	衆 議 院 事 務 局	衆議院法務委員会で、串田誠一衆議院議員 が、同日札幌地裁において婚姻の平等につい て違憲判決が出たことを指摘し、憲法13条と の関係で同性婚を制限する公共の福祉とは何 か問うたところ、小出邦夫政府参考人が、現 時点で同性婚の具体的な制度の導入を検討し ておらず、それが憲法24条1項に適合するか の検討もしていないなどと答弁したこと。
甲 A 628	第204回国会参議院予算 委員会議録第14号(抄)	写し	2021/ 3/19	参 議 院 事 務 局	参議院予算委員会で、蓮舫議員が、札幌地裁 で同性婚を認めないのは違憲との判決が出た ことを指摘し違憲状態を解消する手立てを取 るように求めたが、菅義偉内閣総理大臣は状 況を見守るとの答弁に終始したこと等。
甲 A 629	第204回国会参議院法務 委員会議録第3号(抄)	写し	2021/ 3/22	参 議 院 事 務 局	参議院法務委員会で、山添拓議員が、札幌地 裁の判決を受けて法務省で対応を検討してい ることはあるかと問うたところ、上川陽子法 務大臣が、同判決は確定前のもであり他の裁 判所に同種訴訟が係属していることから、そ の判断等を注視していく等答弁したこと。
甲 A 630	第204回参議院財政金融 委員会議録第5号(抄)	写し	2021/ 3/23	参 議 院 事 務 局	参議院財政金融委員会で、音喜多駿議員が、 札幌地裁判決地裁をどのように受け止めてい るのか、また本判決の解釈として、本判決の 違憲状態を解消するためには同性婚規定が求 められていると考えられるのかどうか法務省 の見解を問うたところ、堂蘭幹一政府参考人 が、政府は婚姻に関する民法の規定が憲法に 反するものではないとの主張が受け入れられ なかったというふうに承知しているが現段階 では確定前の判決であり、また、他の裁判所 に同種訴訟が係属していることから、まずは その判断等を注視していきたい等答弁したこ と。

甲 A 631	第204回国会参議院予算 委員会会議録第15号(抄)	写し	2021/ 3/24	参議院 事務局	参議院予算委員会で、石川大我議員が、札幌地裁において違憲判決が出たことを指摘し同性婚の導入についても精検討しているかと尋ねたところ、加藤勝信内閣官房長官が、同判決の精査は行うが法整備の必要性については、同判決が確定前のものであり同種訴訟を注視していきたいと答弁したこと。
甲 A 632	第204回国会参議院予算 委員会会議録第16号(抄)	写し	2021/ 3/25	参議院 事務局	参議院予算委員会で、福山哲郎議員が、札幌地裁が違憲判決を下したことにつき総理大臣に意見を求めたところ、菅義偉内閣総理大臣が、札幌地裁判決は、確定前のものであり、また他の裁判所に同種訴訟が係属していることから、その判断等を注視すること、(最終令和3年3月17日は)私人間の紛争に関するものであり現時点で詳細を把握していないと答弁したこと。
甲 A 633	第204回国会参議院予算 委員会会議録第17号(抄)	写し	2021/ 3/26	参議院 事務局	参議院予算委員会で、石川大我議員が、2019年に提出している婚姻平等法案について、政府は札幌地裁での違憲判決を受け速やかに法制度を整えるべきとの意見を述べたこと。
甲 A 634	第204回国会衆議院法務 委員会会議録第9号(抄)	写し	2021/ 4/2	衆議院 事務局	衆議院法務委員会で、串田誠一議員が、同性婚について政府は議論が重要というが、どのような段階になったら国民の議論が成熟したと判断するのかと問うたところ、上川陽子法務大臣が、そうした議論が深くまた広くなされること注視している、法務省としては丁寧に対応していくという形で環境整備についても図っていきたい旨答弁したこと。
甲 A 635	第204回国会衆議院憲法 審査会議録第1号(抄)	写し	2021/ 4/15	衆議院 事務局	衆議院憲法審査会で、國重徹議員が、同性婚と憲法について札幌の違憲判決に言及した上で、憲法制定時には想定されていなかった同性婚についても真摯に議論をしていく必要があると述べたこと。
甲 A 636	第204回国会参議院憲法 審査会議録第1号(抄)	写し	2021/ 4/28	参議院 事務局	参議院憲法審査会で、石川大我議員は同性婚について、憲法13条や14条の規定を考えると、同性婚はむしろ現憲法下で要請されていると言えること、札幌地裁での違憲判決も出ており速やかに民法を改正し婚姻における平等、同性婚を法制化すべきと述べたこと。

【有償配布 や Web(ホームページ, ブログ, facebook 等)へのアップロード・転載はお止めください】
 【リンクはご自由にお貼りください】
 「結婚の自由をすべての人に」東京第一次訴訟控訴審(東京高裁)第1回期日(20230623)提出の書面です。

甲 A 637	第204回参議院憲法審査 会議録第2号(抄)	写 し	2021/ 5/19	参 議 院 事 務 局	参議院憲法審査会で、平木大作議員が、同性 婚を認めていない民法などの規定は違憲で差 別に当たるとした札幌地裁の判決を我々は重 く受け止める必要があると述べたこと。
甲 A 638	第205回国会衆議院本会 議会議録第3号(抄)	写 し	2021/ 10/11	衆 議 院 事 務 局	2021年10月11日、衆議院本会議において、岸 田文雄内閣総理大臣が、性的指向、性自認を 理由とする不当な差別や偏見はあってはなら ないと考える旨述べながらも、同性婚の導入 については、「我が国の家族の在り方の根幹 に関わる問題であり、極めて慎重な検討を要 する」との紋切り型の答弁を行ったこと等
甲 A 639	第205回国会参議院本会 議会議録第3号(抄)	写 し	2021/ 10/12	参 議 院 事 務 局	2021年10月12日の参議院本会議においても、 岸田文雄内閣総理大臣が、上記と同様の答弁 を行ったこと等
甲 A 640	記事「『同性カップル 宣誓1号になりたかった ね』訴え続けた53歳の 死」	写 し	2021/ 10/1	朝 日 新 聞	2021年10月12日、参議院本会議において岸田 文雄内閣総理大臣に対する福山哲郎参議院議 員の質問で言及された女性(2021年12月8 日、衆議院本会議で西村智奈美議員も、岸田 内閣総理大臣に対する質問中で言及)が宇佐 美翔子氏であり、宇佐美氏が同年9月30日に 亡くなったこと等
甲 A 641	第207回国会 衆議院 本会議 会議録第2号 (抄)	写 し	2021/ 12/8	衆 議 院 事 務 局	2021年12月8日の衆議院本会議においても、 岸田文雄内閣総理大臣が、同性婚についてこ れまでと同様の答弁を行ったこと等
甲 A 642	第208回国会 衆議院 本会議 会議録第2号 (抄)	写 し	2022/ 1/19	衆 議 院 事 務 局	2022年1月19日の衆議院本会議においても、 岸田文雄内閣総理大臣が、同性婚についてこ れまでと同様の答弁を行ったこと等

【有償配布 や Web(ホームページ, ブログ, facebook 等)へのアップロード・転載はお止めください】
 【リンクはご自由にお貼りください】
 「結婚の自由をすべての人に」東京第一次訴訟控訴審(東京高裁)第1回期日(20230623)提出の書面です。

甲 A 643	第208回国会 衆議院 法務委員会 会議録第 11号 (抄)	写し	2022/ 4/22	衆議院 事務局	2022年4月22日の衆議院法務委員会において、古川禎久法務大臣が、同性婚について行った答弁において、同性婚制度を導入すべきか否かは、我が国の家族の在り方の根幹に関わる問題である等と述べ、社会的な承認があったと言える時期を一概に答えることは困難である等述べたこと等
甲 A 644	第210回国会 衆議院 本会議 会議録第2号 (抄)	写し	2022/ 10/5	衆議院 事務局	2022年10月5日の衆議院本会議においても、岸田文雄内閣総理大臣が、同性婚についてこれまでと同様の答弁を行ったこと等
甲 A 645	第210回国会 参議院 法務委員会 会議録第3 号 (抄)	写し	2022/ 11/1	参議院 事務局	2022年11月1日の参議院法務委員会において、葉梨康弘法務大臣が、「同性婚も含めて、やはり家族法制に関わる問題というのは、国民的なコンセンサスと理解、この上に立ってでないとなかなか前に進むことができないということもまた御理解をいただきたいというふうに思います」と述べ、検討を進めるといった積極的な答弁は一切なかったこと等